

計画の名称	安全・安心に暮らせる生活環境づくり（防災・安全）			
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度（5年間）	交付対象	御浜町	
計画の目標				

水と緑に包まれた、優れた自然環境を誇るまちとして、自然と共生する快適で安全な居住環境づくりを進めます。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・阿田和クリーンセンター（下水処理場）主要施設の地震対策率を0%（H27）から100%（H30）に増加させる。
- ・阿田和クリーンセンター（下水処理場）の長寿命化対策率を0%（H27）から60%（H31）に増加させる。
- ・マンホールポンプ設備の長寿命化対策率を0%（H27）から100%（H31）に増加させる。

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値

備考

当初現況値	中間目標値	最終目標値
(H27当初)	(H29末)	(H31末)

阿田和クリーンセンター（下水処理場）主要施設の地震対策率（%） 耐震補強実施済施設数/耐震補強を実施すべき施設数	0%	14%	100%
阿田和クリーンセンター（下水処理場）長寿命化対策率（%） 改築更新実施済設備数/改築更新対象設備数	0%	17%	60%
マンホールポンプ設備長寿命化対策率（%） 改築更新実施済設備数/改築更新対象設備数	0%	88%	100%

全体事業費	合計（A+B+C）	410.85百万円	A	410.85百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%
-------	-----------	-----------	---	-----------	---	------	---	------	---------------------------	------

交付対象事業

A1 下水道事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
											H27	H28	H29	H30	H31		
1-A1-1	下水道	一般	御浜町	直接	御浜町	水処理	改築	阿田和クリーンセンター地震対策	ポンプ棟	御浜町						61.46	
1-A1-2	下水道	一般	御浜町	直接	御浜町	水処理・汚泥処理	改築	阿田和クリーンセンター長寿命化対策	長寿命化対策 1式	御浜町						266.22	
1-A1-3	下水道	一般	御浜町	直接	御浜町	汚水	改築	マンホールポンプ設備長寿命化対策	長寿命化対策 1式	御浜町						83.17	
小計（下水道事業）											410.85						

A2 河川事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
											H27	H28	H29	H30	H31		
小計（河川事業）																	
合計																	

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H27	H28	H29	H30	H31		
合計																

番号 一体的に実施することにより期待される効果

備考

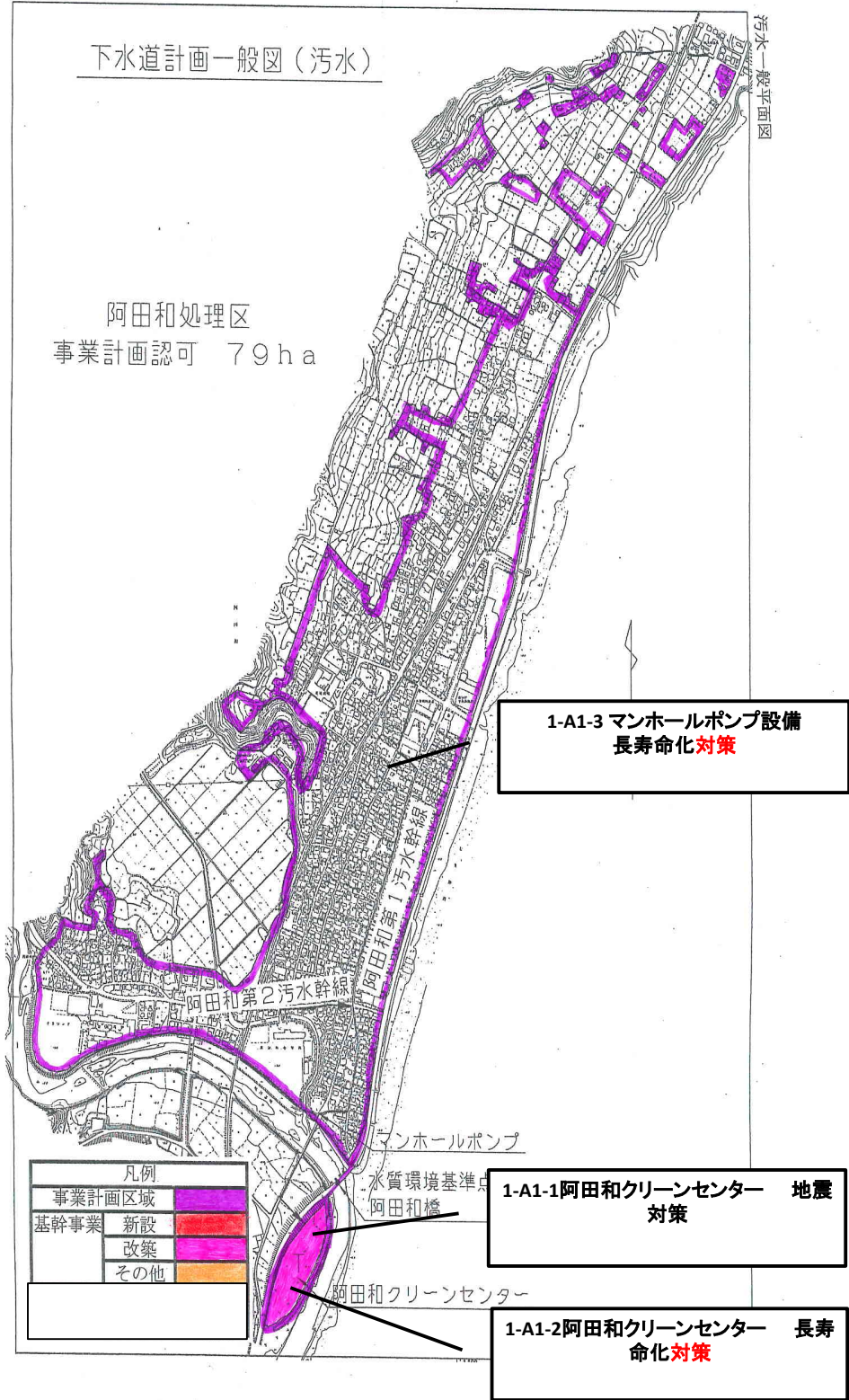
C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H27	H28	H29	H30	H31		
合計																

番号 一体的に実施することにより期待される効果

備考

計画の名称	安全・安心に暮らせる生活環境づくり(防災・安全)		
計画の期間	平成27年度～平成31年度(5年間)	交付対象	御浜町



社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称:安全・安心に暮らせる生活環境づくり(防災・安全)

事業主体名:御浜町

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合等	
1)計画の目標が、御浜町長期総合計画の基本目標と適合している。	○
2)各種法令(都市計画法、下水道法等)を遵守している。	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量式指標の整合性	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
②事業の効果	
1)目標に対して、一定の事業効果が発現されている。	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境	
1)人口動向等の将来見通しと今後の整備計画を踏まえ、中期的な収支バランスが可能となるような収支見通しが立っている。	○